

平成28年 5月11日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全  
 (コード番号：8732 東証第一部)  
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦  
 (TEL. 03-4540-3804)

### 平成28年4月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成28年4月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

#### 記

年 月	平成 27 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	593	440	534	470	456	544	510	552	558	464	387	490
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	164,450	87,835	93,958	80,634	80,504	92,881	83,564	89,674	95,887	71,822	55,460	64,288
顧客口座数 (単位：口座)	253,179	254,732	256,494	258,189	259,825	261,736	263,685	265,521	267,463	268,916	270,219	271,544
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	48,114	47,653	47,961	48,896	48,707	50,101	50,236	48,253	52,815	51,725	50,355	49,480

年 月	平成 28 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	572	559	529	473								
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	92,445	96,278	70,156	74,405								
顧客口座数 (単位：口座)	272,521	274,164	275,538	276,891								
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	60,316	60,224	59,769	59,413								

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
4. 平成23年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

#### < 4月次の概況 >

4月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル＝112円台半ばで取引が始まり、株価・原油価格の下落や、米国金融当局の利上げに対する慎重な姿勢、恣意的な為替市場への介入は慎むべきとする日本政府の円高抑制への消極的な態度を背景に、ドル売り円買いが進み、11日には年初来の安値を更新する107円台半ばをつけました。その後107円台後半から109円台後半の狭いレンジで推移しましたが、日銀が金融機関への貸付にマイナス金利の適用を検討しているとの報道が広がると円安が進み、22日には111円台後半まで値を戻しました。ところが、28日の日銀政策決定会合で金融政策の現状維持が決定されると急激な円買いが進み、約1年6か月ぶりの安値となる106円台前半で月末を迎えました。米ドル／円の月を通じた変動率は、前月を大きく上回り、非常に高い水準であった前々月に匹敵する水準となりました。一方、米ドル／円以外の主要な取り扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、クロス円通貨ペアを中心に変動率は大幅に上昇し、米ドル／円を含めての全体としての変動率は前月の水準を大きく上回り、平成25年6月以来の高い水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、値動きの大きかった米ドル／円を中心に増加した一方、営業日数が21日と前月に比べ2営業日減少したこともあり、7,440億通貨と前月比6%の増加にとどまりました。一方、営業収益は、相対的に収益性の低い米ドル／円の割合が前月と比べ更に増加したことや急激な相場変動時のカバーレートの悪化等から全体の収益性が前月と比べ低下し、前月比11%減少の473百万円となりました。また、顧客基盤については、顧客口座数は前月比1,353口座増加の276,891口座と堅調に増加した一方、外国為替取引預り証拠金は、BtoB取引先である金融法人からの預り証拠金の減少があったことから、前月末比355百万円減少の59,413百万円となりました。なお、このうち、BtoB取引先である金融法人からの預り証拠金は、前月比784百万円減少の10,588百万円であります。

以 上